

第71回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 番組部門 審査結果および講評

■ラジオドキュメント部門

審査順	学校名	作品名	結果	審査講評
1	桃山学院	8000km先から	入選	関西にいるウクライナの人たちの生の声を聞くことができ良かったが、全体的に構成にあてはめすぎて、戦争のつらさなど伝わってくるものが少なく感じた。インタビュー部分をもう少し丁寧に撮って編集するとより聞きやすくなる。ナレーションを“つなぎ”にするともっと良くなる。
2	四天	時間がない！！	4位	“時間”にスポットを当てたのが面白かった。導入部分を含めて、聞いている人に「何の話楽しそ?」「どこを面白がる?」という流れの指示の仕方はとても良かった。同世代の様々な意見や先輩、先生にもインタビューし、多角的な要素を散りばめていて面白く感じた。身近な部分から広げていくのはとても良かったが、ゴールがもう少し広がればと思う。
3	相愛	47歳の新人先生	2位	新人の先生が初めて赴任したときのインタビューをうまくとっていたり、主人公となる先生に興味を持てるような上手い構成。日常と授業を交互にみせていくのも先生に会ってなくても会いたくなる作品だった。欲を言えば、今の状況や新人だからこそその面もあればよかった。テレビで作ってみても面白いかなと思った。
4	府堺西	訛る君へ	1位	日常で感じた身近な疑問を周辺の人たちに率直に聞いていくスタイルから大阪の文化や先生たちの思いを伝えていき、自らの問いも明らかにしていくのがとても面白い。島根の授業（標準語での授業）の再現音声があればよりわかりやすかった。学生だからこそ伝えられる作品だと感じた。
5	箕面自由	「ダメ。ゼッタイ。」を考える	3位	難しいテーマによく挑戦した。「ダメ、ゼッタイ」という言葉からインタビューをしていく構成、実際に対処している人たちにインタビューをしていて、深く考察しているのは良い。内容のまとまりに欠けるのでインタビューをもう少し絞ったほうが伝わりやすくなる。

第71回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 番組部門 審査結果および講評

■創作ラジオドラマ部門

審査順	学校名	作品名	結果	審査講評
1	箕面自由	天地ヲ返セ！ 究極のマシマシ！	3位	キャラクターの使い分けはしっかりしているし、ラーメン勝負というわかりやすく引き込まれやすい物語に昇華している。ストーリーはもう少しひねりがほしい。全体的にセリフの量が多く説明的過ぎて、もっとラーメンのおいしさとかを音で表現してほしい。特に食べた後の味わいを。編集の技術は高い。
2	桃山学院	生命の講座	1位	1週間しか生命がないというセミの特徴を使って擬人化したセミの気持ちを伝えつつ生命の大切さを伝えるというアイデアは面白いが、そのアイデアから広がってっていないのがもったいない。音のこだわりを感じました。ベタな展開を変えたい気持ちが伝わったが、もう少し結末に工夫が必要。
3	堺リベ	反抗期	入選	熱演している芝居や好きなことはとても伝わってくるが、“おとなのいない世界”というテーマを掲げているものの表現しているストーリーが違う気がする。ストーリーが少しわかりにくく感じた。“おとなのいない世界”という発想は高校生らしくてよかった。登場人物はもう少し少ないほうがわかりやすい。
4	府槻の木	スイッチON	2位	主人公の成長ストーリーというのは伝わりましたが、先が読めてしまうところがあったので、もう少しストーリーを工夫するとさらによくなると思う。どの部分を面白く思えば良いのか曖昧に感じた。オフビートな芝居が不気味な味を出していた。声が全体的に似ているのが気になった。テレビドラマのほうがもっと面白くなると思った。
5	府今宮工	消費者	入選	社会的テーマから発想したのは重要なことで「食品ロス」をその食品から逆襲されるという興味深いストーリー。最後のオチが少しわかりにくいのが、SDGsを考えさせる点やメッセージ性がありよかった。アイデアからもう少し展開してほしい。序盤が、セリフですべて説明されているのがもったいない。登場人物の声での区別が難しかった。

第71回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 番組部門 審査結果および講評

■テレビドキュメント部門

審査順	学校名	作品名	結果	審査講評
1	四天東	#セキュリティの 関係上、写しません。	入選	H氏を探っていくインタビューだが、そもそもなぜH氏に興味を持てば良いのか、また制作者とH氏との関係がよくわからない。取材は頑張ったし、面白い素材ではあるが、活かし方を考えたい。伝えたいことはなんですか。再現VTRがありきたりなので、展開そのものをひっくり返すなどの工夫が必要。「映せない」対象をアバターを使って表現したところが目新しく、上手に番組を仕上げている。高校時代と卒業後を対照的なコメントで表現できており、取材対象としてもおもしろく構成も良い。ラジオの方が適切だったかも。H氏の正体が明かされないことは賛否両論出てくるのではないか。
2	箕面自由	1年3組	3位	柘木さんという人のこと、なぜ1年3組をやりたいのか、がよくわかった。異色の経歴を持つ取材対象をよく見つけました。キッチンカーの経営者にスポットを当てたのが面白い。素材が良く、また構成がしっかりしている。画面の変わりや工夫があり、丁寧に作られている。なぜ柘木さんに興味を持ったか、なぜこの人を取り上げたいと思ったのか、制作者の思いが薄く感じた。転職に至った心境の変化や、利用者の感想、接客の様子を取り上げて欲しかった。画面が単調で繰り返しが多く、ラジオの方が良かったのでは。ナレでまとめているのが残念。
3	桃山学院	図書館の今、 そしてこれから	2位	身近なテーマを取り上げているところに好感が持てる。映像表現の工夫や構成、テロップなど、誰かに伝えたい思いは強く感じた。伝えたいメッセージはうまく整理できている。学校外（特に、個人の見解を述べたがらない公的機関）への取材がよくできており、映像も綺麗で完成度が高い。図書室が自習場所となることは良くないことなのか？図書館で自習をする人が多いという部分から本の大切さに向かっていく部分がやや強引。インタビュー対象が台本を読んでいるように見えた。図書館の方々の意見を一般論として扱って良いものか。この内容だと、テレビでなくても良いのかも。
4	府今宮工	糸	4位	綿菓子機を作る過程をシュールにドキュメントしているところは純粋に面白い。工科高校ならではの作品で、体当たりのドキュメントであるところが興味深い。顔を出さず箱で表現しているところ、静止画をうまく使っているところなど、シンプルながら演出的な良さがいくつかあって工夫され、インパクトで引き込まれる。最終的に部活紹介に収束していくところが内輪向けっぽい。部活で企画した内容、という身近なところから始まったのがよい。もう少し話を広げるともっと面白くなる。テロップが欲しかった。誤字を直しておきましょう。
5	相愛	ポールダンスと 呼ばないで	1位	ポールダンスではなくポールスポーツとしてみて欲しいという小西さんの静かな闘志を感じた。新しいスポーツに挑戦している、学校の仲間を取り上げており、興味を持てる。高校生ならではの作品。競技や小西さんの紹介が強く出過ぎている。小西さんの人柄や「スポーツとしてみて欲しい」という熱意を、番組でもっと伝えたい。今頑張っていることをドキュメントしてほしい。集合写真の中のどれが小西さんか、わからなかった。ユニークな素材で、「画で魅せる」テレビ向きの内容。良い出来です。演技中の音楽がないのは権利処理の関係か？

第71回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 番組部門 審査結果および講評

■創作テレビドラマ部門

審査順	学校名	作品名	結果	審査講評
1	浪 速	リスタート	3位	話の展開はすごく練られている。キャラクターもしっかりしていて面白く見た。最後に幕が開く瞬間も強く印象に残った。演技の間に工夫がほしい。最後のステージをもう少し見たかった。もう一度やろうと思うところをもう少ししっかり表現できている。音声のノイズ処理ができれば。「お笑い」というところが大阪らしい。高校生のありそうでなさそう、でももしかしたらあるかも？な線を絶妙に突いてきた。BGMをもっと使おう。楽しく見ることができました。
2	箕面自由	優	1位	短い尺の中で、主人公たちの細かな友情をうまく作っている。カメラワークも適切な部分が多い。素敵な物語に感じた。アップの多さが気になった。「ラベリング」がテーマの葛藤は高校生ならではの視点。最後でチャームへの変化という結末が良い。主人公のちょっとした成長がまぶしく感じた。文字で見えるというアイデア、鏡の使い方が良い。掃除当番がふざけている？シーンの意味が分からなかった。見えない髪飾りは面白いです。演出とカメラワークに細かいこだわりを感じました。
3	相 愛	ここにいる	2位	ホラーとして、楽しくアイデアいっぱいで作っているのが伝わってきた。最後に幽霊を見せるのは、もう少し考えた方が良いが、チームワークの良さや工夫は感じた。「注目されたい」がテーマなら、主人公がそう考えるに至る場面を入れたい。もう少し見やすくする工夫を。時間があるのでひと展開してほしい。ホラーの感じを恐すぎず適度に表現できていた。見るものを引き付ける作品だった。映像に味がある。最後に救いがほしかった。